

目次

一、巻頭言……………	一
二、加盟支部一覽表……………	二
三、役員氏名……………	三
四、一般會務報告……………	四
1 昭和五年度大會決議事項の執行……………	四
2 全國紡織労働組合概況……………	八
3 メーデー……………	九
4 總同盟全國大會及關東同盟大會……………	一〇
5 理事會及執行委員會……………	一〇
6 役員人事……………	一五
五、組織宣傳部報告……………	一五
六、調査部報告……………	一七
七、婦人部報告……………	一八
八、教育部報告……………	一九
九、争議部報告……………	二〇
十、政治部報告……………	二四
十一、會計報告……………	二五

巻頭言

不況の深刻化に伴ひ、我紡織労働組合も、その運動上、頗る困難に當面せざるを得なかつた。紡織聯合會が、高率の繰返を實行し、本年七月より九月の三ヶ月間は、五分六厘を緩和したが、しかも二割五分二厘に上る。昭和四年十二月、十六萬七千名の紡織工は、昭和六年一月に、十一萬七千名となり、一ヶ年間に約五萬人の減少を見た。同四萬四千名の職布工は、二萬九千名となり一萬五千名の減少を見たのである。即ち三割餘の人は、失業者となつた次第である。實收入も昨年一月より八月に於いて、約二割餘を引き下げられたが、更に、八月より本年八月に至る一ヶ年間に、一層の減收が行はれた事は、組合員諸君の體驗せらるゝが如くである。

然るに、この労働階級の犠牲の上に、各紡織社は着々利益を増大し、本年上半期に於て二割内外の利益配當を行ひたる會社も少からず、まことに、世界を通じて類例を見ざるところであつて、直ちに以つて、労働階級の無力を語るものがある。

紡織労働者は、多く幼弱の婦人であつて、労働組合に團結するの自覺を缺き、或は所謂階級的自覺はあるも、無思慮なる感情行動に走り易く、健實なる大労働組合發達の前途は必ずしも、坦々たる大道では無いのである。然し乍ら、我日本労働總同盟紡織労働組合は、一貫して採用せる方針を益々徹底せしめ、紡織産業に適應せる、方針と行動とを以つて、これ等迷羊にも等しき人々を組織せしむるために、不屈の活動を続けねばならぬ。今、一ヶ年間の成績を顧るに、四支部、一準備會を設立し、解雇その他に依る減少を補ふて、約八百名の増加を見るに至つた事は、現下の産業事情より見て、必ずしも不成績ではなからうと思ふのである。貸銀引下等の労働條件悪化の傾向に對しても、活潑なる闘争を行つて之を防止し或は積極的に労働條件を向上せしめ得たところもあることは、本報告書に明記されて居る如くである。

労働總同盟は、本年を以つて創立第二十年を迎へたが、紡織労働組合は、同盟中に於ても最も永き歴史と輝かしき戦蹟を有する。希はくば、組合員諸君、倍舊の御奮闘により、愈々益々本組合旗をして光輝あらしめよ。

昭和六年九月

組合長 松岡駒吉